

～レセプト点検における現状・課題・展望～

司会：大阪回生病院 医事部長 寺岡 秀男

ーレセプト点検の現状はいかがですか。

大阪回生病院)寺岡 今年も診療報酬改定が終わりまた疑義



大阪回生病院 寺岡氏

解釈がすべて出揃い、やっと皆様の病院も落ち着いた頃だと思います。ところで、6月の規制改革実施計画において「診療報酬の審査効率化と統一性の確保」のためとして、審査のあり方の見直しや検討組織の設置が示されました。

簡単に説明すると、審査においてIT化をより進め全国統一の審査方法（支払基金と国保連合会の統一並びに県単位を関西圏等の単位での審査機関の設置等）の構築と査定・減点率のアップなどを推し進める方向が打ち出されました。そこで、皆さんの病院ではどのようなフローで点検を行っているかお聞かせください。

大阪警察病院)磯崎 当院ではレセプト点検はすべて職員が行っており、外来は毎月25日前後に仮レセ、1日に本レセを診療科別に、点検ソフトを用いて出力しています。事務職員の点検の後、各課外来受付から不備レセプトについて担当医へ点検を依頼しています。入院については各病棟ひとり担当者がいますので、退院患者は随時、主治医へ依頼を行っております。在院患者は毎月2日にレセを出力し、その後主治医へ病名追加、病状詳記の依頼を行っております。在院患者は毎月2日にレセを出力し、点検しています。また、病名漏れやDPCの選択に誤りがないよう、出来高レセを点検ソフトにて点検しています。



市立豊中病院 松田氏

寺岡 大阪警察病院のように全て職員で行うと委託等と違い責任感もあり、また手術の解釈など不明な点も医師に確認するのがスムーズにできより良いレセプト作成ができますね。

草津総合病院)衛藤 当院は外来・入院ともに、15日頃・月末・レセプト期間中にエラーチェッ

クを実施し、落穂ひろい形式のチェックを15日頃とレセプト期間中に実施しております。外来レセプトについては点検ソフトを用いて15日頃と月末に出力点検しております。入院について、退院患者さんについては随時点検依頼を実施し出来高比較・副傷病名を月に3回実施し本レセ点検は1日スタートになっております。

うえだ下田部病院)浦野 当院は月末から点検作業を開始し、提出の3日前には点検が完成するよう心掛けています。薬や検査に適合する病名漏れがないか点検ソフトを使用しチェックと修正を行い、レセプト提出に臨みます。

市立豊中病院)松田 外来は、中旬と月末最終日に重点項目のチェック、コメント入力を行い、毎月1日にレセプト出力点検をし、医師へ依頼をします。入院レセプトは月末に退院済のレセプト点検を行い、病名不備、症状詳記の作成を医師へ依頼します。翌月、月初めに在院患者分と月末レセプト発行以降に退院した患者のレセプト点検を行い、同様に医師へ依頼します。



草津総合病院 衛藤氏

また点検業務の中で困

っていることは、解らない項目に関しては解釈本で確認しながら点検を行います。特に新設された項目に関しては情報も少なく疑義解釈に記載されていないものも多く点検時困難に感じられます。また、解釈本などで確認しても記載されている文言の意味が不明確で、解釈の仕方によってはどのようにでもとれ、判断しかねる場合があるからです。

ー査定分析についてはいかがでしょうか。

寺岡 返戻レセや査定の管理はどうされてますでしょうか。毎月5日前後に送付される資料を、10日の締め切りに間に合わせるのは大変ですね。

また査定に関しても集計作業に追われて、分析や診療科へのフィードバックが疎かになっている病院もあるようすがいかがでしょうか。

衛藤 一日でも早く作業できるように毎月4日ごろに支払基



大阪警察病院 磯崎氏

金・国保連合会にそれぞれ取りに行くようにして10日に間に合うように頑張っています。集計はエクセルシートに内容を手入力し管理しているので大変です。まとめたものは委員会にて医師を交えて分析を行っています。

寺岡 そこまでの医療機

関はないのではと思います。本当に素晴らしいことですね。

浦野 当院も同じような感じですね。一次審査分と過誤を分けて集計し入外・保険別・主治医別に再集計しています。査定項目は減点理由区分とレセプト・カルテと照合し調査しています。やはりデータの入力作業に時間がかかってしまい、分析作業が大変ですね。

松田 査定・返戻のフローは、査定・返戻別に通告書を分け査定は1次・2次審査別、保険別、診療科別に集計しております。また返戻は診療科別、保険別に集計という形になります。また専門システムがなく通告書からExcelに登録しているため登録に時間が掛かります。またエクセルデータのため、項目にスポットをあてた分析や時系列で査定傾向などつかむといった分析がしにくいです。詳細な査定が増加し、項目が細分化されていることや、手計算のため公費、高額療養費制度の計算に手間がかかるということです。

磯崎 当院も以前はエクセルに査定データを手入力しており、その作業に多大な時間と労力を要していました。審査機関から提供されているCSVデータを何とか活用しようと思いチャレンジしましたがうまくいかず悩んでいたところ、点検ソフト会社の株式会社エーアイエスから査定分析システムの案内があり早速導入しました。そうすると、大幅に作業時間が減少しました。残念ながら過誤や歯科分のCSVデータは提供されていないのでその分の手作業は起こりますが少々の手を加えるだけで既存のエクセルの表に収まる感じになりました。集計作業が楽になった分、担当者がレセプト点検に集中できる時間が増え減点対策もしっかりとれるようになりました。

寺岡 返戻・査定は医事課にとって永遠の課題ですね。医事課の職員数も限られているので、集計等力仕事はなるべく省力化できるといいですね。

しっかり査定内容を分析し、納得ができないものは積極的に再審査することが重要ですね。それとほとんどの医療機関が査定・減点の報告で終わっているのが現状です。報告だけでなく、改善にまで繋げる「保険診療委員会」にすべきだと思います。



うえだ下田部病院 浦野氏

査定・返戻集計ソフトの

査定・返戻分析 Lite[®]

powered by
MightyChecker[®]

データを活用した増減点管理を始めましょう。

- ✓ 増減点の集計にかかる労力を削減!
- ✓ 査定・返戻の多い項目や要注意ポイントが明白に!
- ✓ 毎月の増点・減点の管理が楽々できる



※レセプト点検ソフト Mighty Checker[®]のオプション機能として、より効果的にご利用頂けます。

無料お試しキャンペーン実施中!

開発元 **AIS** 株式会社 エーアイエス

TEL : 03-5800-5911 (担当: 営業本部) まで
どうぞお気軽にお問合せください。

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-23-11 常光ビル
TEL : 03-5800-5911 (代表) FAX : 03-5800-5910
URL : <http://www.tais.co.jp>